

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表) 【放課後等デイサービス】

公表: 令和5年2月7日

事業所名: おひさまSun

保護者等数(児童数)23

回収数23

割合 100%

	チェック項目	はい			ご意見	ご意見を踏まえた対応
		どちらとも いえない	いいえ	いいえ		
環境・体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	20	2	1	・身体の大きい子もいるので小学生には狭いと思う。	・おひさまSunでの室内遊びの際は、学年で部屋を2部屋に分けたり、必要に応じてくすの子保育園の園庭も使うようにしたりしています。
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	22	1		・活動前に離れるので、職員配置を把握していない。 ・相談したこと等、解決に向けての方向づけをしてもらっているように思う。	・配置基準が子ども10人に対して、職員2名となっていますが、お子さんに合わせて職員をプラスで1~2人配置するようにしています。 ・保護者の悩みや発達特性を理解できるように毎回活動の前後で打ち合わせや反省を行い、月に1回ケースカンファレンスを職員で行うようにしています。
	③ 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	18	4	1	・注意して見ていなかった。	・ご意見ありがとうございます。また、お気づきの点がありましたらお知らせください。
適切な支援の提供	④ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画ⅰが作成されているか	22	1		・よく聞き取りをしてくれたり、話しをきいてくれたりするのありがたい。	・保護者の方からお聞きした内容を個別支援計画や日頃の活動に取り入れるようにしています。活動としては、話し合いを中心とした、ソーシャルスキルや自信へ繋げることを大事にしています。
	⑤ 活動プログラムⅱが固定化しないよう工夫されているか	20	3		・色々な作品が季節などを感じられたり楽しい活動が窺える。	・子ども達同士の話し合い活動(ソーシャルスキル)を中心としています。普段なかなか体験できない自然に触れる活動も取り入れています。
	⑥ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	9	10	4	・交流があるか分からなかった。 ・コロナ禍の為難しいと思う。 ・児童(めろんグループ)との上下の交流はとても良いと思う。 ・学校から帰ってくる時間が遅いので難しい。 ・以前は参加したが、コロナ禍で難しいと思う。 ・通所自体が少ない。	・今年も新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、外部での活動やあいご会との交流ができませんでしたが、公園で地域の子どもと一緒に遊んだり、児童の子ども達と行事を行う機会を設けさせていただきました。今後も状況を見ながら検討していきたいと思っています。
保護者への説明等	⑦ 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	21	2		・面談等で説明してもらっている。 ・領収書で通所回数等を理解できるようになっている。	・負担金等につきましては、領収書をお渡ししています。また、ご不明な点がありましたらお知らせください。
	⑧ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	21	2		・よく聞いてくれます。 ・職員の方に話がしやすい雰囲気があるので助かる。	・活動終了時間の15分前に振り返りの時間を設けています。今年度も新型コロナウイルス感染症予防対策として全体ではなく個別で行いました。その中で、全体だけでなく1人1人の様子や現状の課題などもお伝えさせて頂いています。
	⑨ 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	23			・定期的に面談もして頂き、色々な話をさせて頂いているので助かっている。 ・成長と共に悩み事や変化していくのでとてもありがたい。 ・計画について個別で説明があるので、現状が分かりやすい。	・保護者の方と色々なお話ができるように心掛けています。いつでもお気軽にお話ください。
	⑩ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	14	9		・コロナ以前に比べると少なくなっている。	・父母の会は設立していませんが、懇談会等を通して保護同士のコミュニケーションが図れるように心掛けています。今年度は9月と2月の2回の実施予定です。9月の懇談会では、放課後の過ごし方等について等活発な意見交換を行うことが出来ました。
	⑪ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	18	5		・苦情を言ったことがないので不明。	・活動前に打ち合わせ、活動終了後に振り返りの時間を設け、共通認識のもと支援が行えるようにしています。より良い支援に繋がるように情報提供を行い、関係機関との連携を大切にしています。

	⑫ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	21	2		・親、子と個別での意思確認がしてもらえるので関係も築きやすい。	・保護者と子どものパイプ役となりながら双方の気持ちを伝えられるようにしています。また、必要に応じて、個別で話を聞けるようにしています。
	⑬ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	20	3		・メール、ホームページを見て確認できるので安心する。	・お便り等の配布やホームページへの投稿、マメールを使つての配信も行っています。
	⑭ 個人情報に十分注意しているか	21	1	1		・契約の際に説明を行い、ビデオやホームページ等への掲載がある際は随時確認を行うようにしています。 ・秘密保持義務において、守秘義務を徹底するように職員へ周知しています。
非常時等の対応	⑮ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	20	3			・掲示を行い、周知しています。また緊急時の対応として連絡表に緊急連絡先を3ヶ所書いていただき、連絡ができる状況を確認しています。緊急時のマメール活用も想定し年に1回マメール送信を踏まえた避難訓練を行なっています。
	⑯ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	20	3			・毎月事業所全体での避難訓練を行い、放課後等デイサービス利用児対象の避難訓練は年に1回行っています。今年度はマメールを使用しての避難訓練を行いました。
満足度	⑰ 子どもは通所を楽しみにしているか	20	3		・日による。 ・楽しみにしている時もあり、行き渋ったりする時もある。 ・毎回とても楽しみにしている。 ・コロナに対する不安が強く通所できていないが、通所を楽しみにしている。 ・自分の意思で通園できている。 ・どんな活動か毎回楽しみにしている。	・子ども達が「楽しい」と思えるような活動を心掛けています。また、何かありましたらお知らせください。 ・新型コロナウイルス感染症対策として、人数に応じて活動室を分ける等、密にならないようにしています。
	⑱ 事業所の支援に満足しているか	22	1	1	・とてもありがたいと感じている。 ・家庭で気が付かない点等気付かされるのでありがたい。 ・つながりをもてる場があることは親子共にありがたい。 ・いつもありがとうございます。	・ご意見ありがとうございました。

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

○ この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所における自己評価結果(公表)

【放課後等デイサービス】

公表: 令和5年2月7日

事業所名: おひさまSun

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			利用人数、子どもの状況に合わせたグループ分けを行い、スペースを分けて密にならないように活動を行っています。	
	2 職員の配置数は適切であるか	○			10:1の配置基準を満たし、追加で1名〜2名となるように子どもに合わせて活動を行っています。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○			室外・室内に関しては段差がある等整備が不十分なところがありますが、できる部分や心のバリアフリーを考え配慮するようにしています。
業務改善	4 業務改善を進めるための、PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			定期的に業務改善についての会議で話し合いをしています。必要に応じて掲示や朝礼で伝え、職員で共通理解をしています。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			放課後等デイサービス対象の懇談会を実施して迅速な対応と改善に繋がっています。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページに公開し、振り返り等で保護者へお伝えできるようにしています。また、掲示をしていつでも見られるようにしています。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○		第三者委員会での評価や多機関連携勉強会にて意見を頂き、改善に努めています。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			各職員が公開療育や外部研修や内部研修に参加できるようにしています。専門職からの意見も取り入れながら学ぶ機会を設けています。	
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			連絡表や個別支援計画を通して、ニーズに基づいた活動ができるように計画を立てています。	
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		必要に応じてSDQや感覚プロフィールを実施して評価をしています。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			職員同士で打ち合わせを行い、子どもたちの主体性を尊重した上で、活動プログラムの立案を行っています。	
適切	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			子ども達の話し合いを中心に、活動内容が固定化されないようにしています。子どもたちの利用が不定期の為、活動内容が同じになることもありますが、1日の活動を通して様々な活動が経験できるようにしています。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			放課後や長期休暇等に応じて、子どもの状況に合わせてながら設定しています。	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
な 支 援 の 提 供	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			集団活動を設定した上で個別の設定等子ども達の状況に合わせてながら行うようになっています。	
	15 支援開始前に職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			職員で打ち合わせを行い、確認することや子どもの関わり方について支援が統一できるようにしています。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			振り返りを行いながら次に繋げることができるようにしています。また、保護者からの話も記録に残して情報共有しています。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			個人記録や全体記録をとっています。	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか		○			利用がなく、定期的にモニタリングができていないケースも見受けられる為、改善していきたいです。
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			様々な活動を組み合わせています。反省を活かし、職員会議や研修等で支援を工夫するようにしています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携 関 係	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			小学校連絡会を通して、情報共有や勉強会の機会を設けています。	
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○			今年度対象児がいませんでした。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			相談支援事業所と連携を図り、情報共有ができるようにしています。	
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○			今年度対象児がいませんでした。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○				
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○			新型コロナウイルス感染症対策の為、外部と交流する機会が持てませんでした。感染症の状況を見ながら今後交流する機会を検討して行きたいと思います。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			法人関係者が子ども子育て会議の委員になっています。	
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎や活動終了後の振り返りを通して、話す時間を作っています。	
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			懇談会等専門療法士の先生から講話等を頂く機会を設けています。	
30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に説明を行っています。		

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			日々の振り返りや個別支援計画を通して、話す機会を設けています。	
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			父母の会は設立していませんが、家族通園や行事への家族参加、懇談会を通して保護者同士のコミュニケーションが図れるように心掛けています。	
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			その日の対応が難しい場合は別日に面接等を行い対応できるように心掛けています。	
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			おたよりや年間計画、予約表等を通して、周知しています。	
	35 個人情報に十分注意しているか	○			契約時に書面を用いて説明を行っています。	
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			必要に応じて、視覚支援を用いた対応を行っています。	
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			町内会への参加や行事を計画し、理解をもらえることができるようにしています。	今年度は新型コロナウイルス感染症の為、実施できていません。今後も地域との交流を持ち協力等を得ながら関係性を築いていきたいです。
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			掲示を行い、周知しています。また、緊急時の対応ができるよう連絡表に緊急連絡先を3ヶ所書いて頂いたり、メールを利用して緊急連絡ができる状況を確認したりしています。	
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			事業所としては毎月、避難訓練を行い、放課後等デイサービス利用児の対象の避難訓練は年1回行っています。	
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			外部研修、内部研修、資料回覧、読み合わせ等を行っています。	
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○		契約時、身体拘束についての同意説明は行っていますが、基本身体拘束は行わないスタイルをとっています。	
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			医師の指示書の元、除去食の提供をしています。	
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			外傷記録簿や個人日誌に記録をとっている。朝礼等を通して職員に周知を行い、再発防止に努めています。	

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。